

実践報告会

新・あきる野プランの構築

「何をいつどのようにどれくらい」学ぶかが分かる教育課程の改善

配信期間 令和7年2月3日(月)～2月28日(金)

新あきる野プランとは

新・あきる野プランは「みんなの教育課程」です。

保護者が分かって、安心できる教育課程。児童・生徒本人たちが分かって、楽しく学べる教育課程。

さらに言うなら、教員が分かって、教えることが楽しくなる教育課程、です。

私たちは「教科別の指導」が見える時間割を作りました。

そして「知的障害特別支援学校の各教科」の目標、内容に即し、「文科省著作教科書(星本)」をもとに小学部・中学部・高等部で扱う「単元」を一覧化しました。

次に知的障害教育部門で作った「単元一覧」を、肢体不自由教育部門でも使ってみました。

するとー

教科別の指導の充実を通して、授業の質の向上、児童・生徒の学ぶ喜び、教材の集積や共有に向けた道筋が見えてきました。

新・あきる野プランは「みんなの教育課程」であり、教育課程を実際の授業に展開するプロセスやカリキュラム・マネジメントサイクル全体を含む概念でもあります。

インクルーシブ教育システムの時代に学びの連続性を可視化する教育課程への提言として、また、学校の働き方改革一効率的で最大効果を発揮する授業づくりへの提言として、私たちは新・あきる野プランをご報告します。



この研究の端緒をつけていただいた市川裕二前校長先生に深く感謝申し上げます。筑波大学教授川間健之介先生と東京学芸大学名誉教授菅野敦先生には本研究へのご助言を賜るとともに、これからに向けたご講演もお願いいたしました。中村大介課長をはじめとする東京都教育庁指導部特別支援教育指導課の皆様には常々温かい激励を頂戴し、研究指定期間を最後まで務めることができました。ご支援をいただいた多くの皆様にこの場をお借りして篤く御礼を申し上げます。

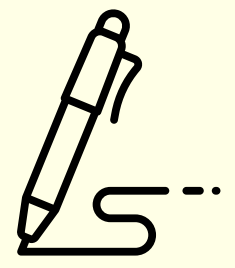
東京都立あきる野学園 統括校長 伴 光明

東京都立あきる野学園

東京都特別支援教育推進計画(第二期) 第二次実施計画

令和4・5・6年度東京都教育委員会指定研究 研究指定校

- ・「知的障害の状況や程度に応じた指導の在り方の研究事業」
- ・「知的障害教育における教育課程の充実事業」



研究活動の紹介

1 校内研究

令和3年度から特別支援学校学習指導要領(平成29年4月告示)で示された「知的障害特別支援学校の各教科」に関する研究を始め、小学部生活科、中学部・高等部での社会科、理科の教科別の指導を行うものとなりました。学習指導要領に示される内容を網羅するために、「単元一覧」の作成や、実態に応じた指導計画を作るための「期待する学習効果のチェックリスト」などの整備を進めました。

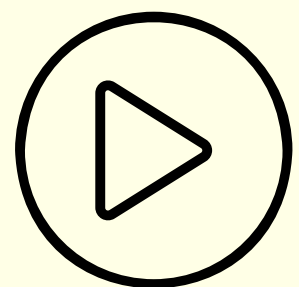
2 令和4・5・6年度東京都教育委員会指定研究

・「知的障害の状況や程度に応じた指導の在り方の研究事業」

知的障害特別支援学校の小・中学部の教科別の指導と各教科等を合わせた指導の関係や考え方を整理し、知的障害の状況や程度に応じた指導の在り方について検討しました。

・「知的障害教育における教育課程の充実事業」

生徒の実態が多様化している知的障害特別支援学校高等部普通科の現状を踏まえ、教育課程の類型化の在り方について検討を行いました。



動画配信

(1) 挨拶・解説「新・あきる野プラン」の取り組みについて

(2) 報告1 あきる野学園の研究活動について

(3) 報告2 あきる野学園の授業計画・学習指導要領から日々の指導へ

(4) 報告3 知的障害教育部門高等部の教育課程改善と「社会生活の指導」

(5) 実践紹介1 「単元分かって楽しート」発表

(6) 実践紹介2 授業の様子(生活、社会科、理科)

(7) 講演1 「知的障害のある児童・生徒のより深い学びのために」

講師 筑波大学教授 川間 健之介 先生

(8) 講演2 「青年期・成人期にむけて在学中に学ぶべきこと」

講師 東京学芸大学名誉教授 菅野 敦 先生



公開資料

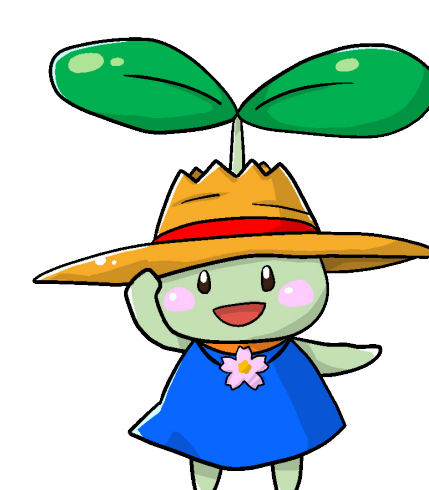
ダウンロードして
お使いください

(1) 単元一覧・単元配列表

(2) 期待する学習効果のチェックリスト

(3) 単元指導計画

(4) 社会生活の指導年間指導計画



オンデマンド配信型

実践報告会

東京都立あきる野学園

報告1 あきる野学園の研究活動について

教科別の指導

知的障害特別支援学校の、小学部生活科、中学部および高等部の社会科、理科を教科別で指導。



授業づくりの「重点項目」

項目
体験的活動の準備
主体的な活動の準備
対話的な活動の準備
全員が学べる手立て
到達度の明確化
学習パターンの確立

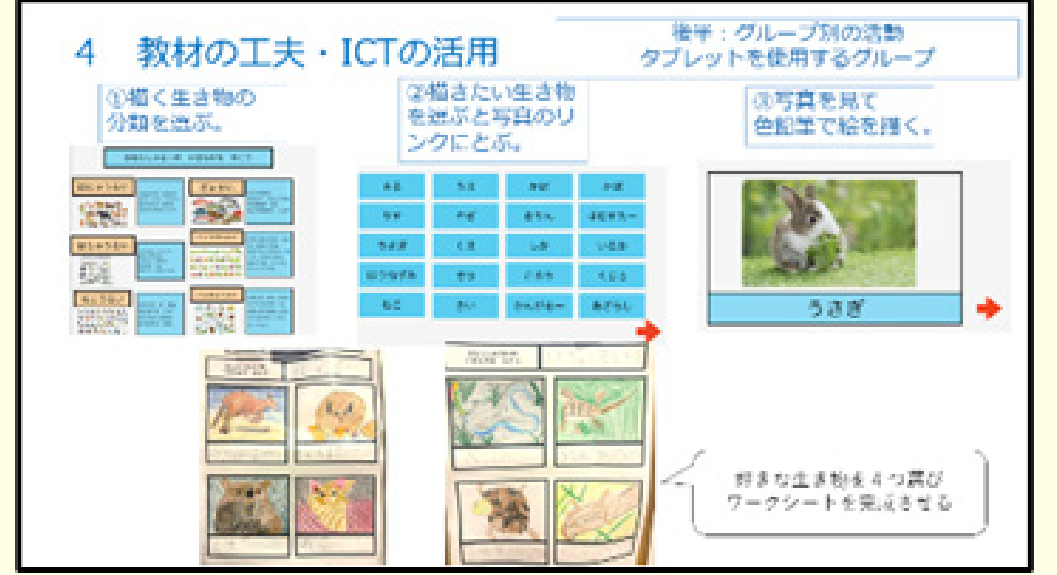
実態差への対応

活動をシンプルにする
グルーピングの工夫
多様なまとめの方法



単元設定や教材の工夫

「単元分かって楽しート」(単元のプレゼン資料)の作成



報告2 あきる野学園の授業計画・学習指導要領から日々の指導へ

単元一覧の作成

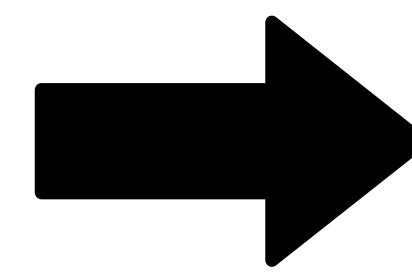
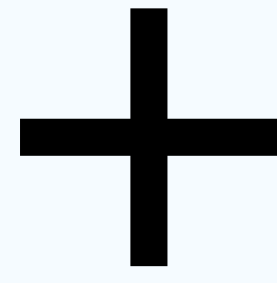
(何を・いつ・どれくらい学ぶか)

月	単元名	指導・評価	教材
4	はるのてんき きせつのずかん (春)	① 春の気候 ② 春の気候や生活の様子について知る。 ③ 春の気候や生活の様子について知る。	ICT機器・季節のイラスト・写真カード・シール・ワークシート・電子辞書・カラーマーカー等
5	たんけんしよ	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。
6	たんけんしよ	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。
7	たんけんしよ	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。
	じぶんとかぞく	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。	① 春の気候や生活の様子 ② 春の気候や生活の様子について知る。

期待する学習効果のチェックリスト

(どのように、を探る)

単元名	学習効果	評価方法
はるのてんき	春の気候や生活の様子について知る。	ワークシート、観察記録
たんけんしよ	春の気候や生活の様子について知る。	ワークシート、観察記録
たんけんしよ	春の気候や生活の様子について知る。	ワークシート、観察記録
たんけんしよ	春の気候や生活の様子について知る。	ワークシート、観察記録
じぶんとかぞく	春の気候や生活の様子について知る。	ワークシート、観察記録



年間指導計画

1年間のねらい
学習内容の計画

学 部	知的障害部門 小学部	学 年	3年(春)
教科名	【知識及び技能】活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特性や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や規範を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、課題解決力】自分自身や身の周りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付く、感じたことを表現しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、尊敬や自慢をもって学んだり、生活に生きかかろうとしたりする態度を養う。		
年間指導時間	35 単位時間		
使用教科書	せいけんせき (全ての単元で教科書を使用)		
使用教材	スケジュール、さがし帳、写真・絵・文字カード、プリントなど		
月	単元(題材)名	指導の工夫	指導の工夫
4	はるのてんき きせつのずかん	●定規の様子を観察し、「はる」「春」の区別をし、天気の特徴をノートで表現しようとする。 ○天気の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする	・イメージしやすいようにイラストや写真カードを活用する。
5	たんけんしよ	●学校のいろいろな場所を撮影し、地図を作る。	・振り返りで確認できるようにする。

報告3 知的障害教育部門高等部の教育課程改善と「社会生活の指導」

「各教科等を合わせた指導」である「日常生活の指導」について、合わせる「基になる教科」や学習指導要領上の段階を明確にするとともに、自立と社会参加に向けた高等部段階の指導内容にした「社会生活の指導」を実施。



学 部	知的障害教育部門 高等部	学 年	3年
教科名	社会生活の指導 (日常生活の指導)	グループ名	社会自立類型 3組(3名)
指導の形態	各教科等で「自立活動、英語、音楽、美術、体育、特別活動、自由研究」		
指導時間	●○○ ○○		
年間指導時間	105 単位時間(6.45x35)		
使用教科書	教科別の授業の教科書に準ずる		
使用教材	日課帳、司会進行表、キャリア・パスポート、漢字検定問題、学校図書、スマイル帳など		
単元名	単元	●主な学習内容/〇ねらい(評価の観点)	指導の工夫
3年	「目的や意図に応じて書く」	●次や文章の中で漢字と仮名を混同して書く。 ○文や文章の読みやすさや意味の通じやすさを考え、漢字と仮名を適切に使い分ける。 ○手紙や連絡帳、掲示物など実用的な文や文章を適切に書く。 ●用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配置などを決めて書くこと。 ○お世話になった人にお礼の気持ちを伝えるために丁寧に書いた文章を書くこと。	・手まねや実物を見せるなど、書きのイメージを共有し、書きやすさを高める。 ・書きやすさを高めるために、書きやすい文字や配置を指導する。 ・書きやすさを高めるために、書きやすい文字や配置を指導する。
	「今日から明日へ」	●話の内容が明確になるように、話の梗概をメモすること。 ○一日の感想や反省などを振り返り、まとめる。 ●目的や意図に応じて、書くことを決める。伝えたいことを明確にする。 ○一日の感想や反省、次の日の予定を連絡帳に記入する。	・書きやすさを高めるために、書きやすい文字や配置を指導する。 ・書きやすさを高めるために、書きやすい文字や配置を指導する。
	「計画の達成」	●目的に応じて計画の達成を行い、身だしなみを整える。 ○計画と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた場面、個性をまかす場面及び計画の達成を確認できるように指導する。	・書きやすさを高めるために、書きやすい文字や配置を指導する。 ・書きやすさを高めるために、書きやすい文字や配置を指導する。

お申し込み・視聴方法について

以下の申し込み用2次元コード、もしくはURLよりお申し込みください。
申込をされた方のメールアドレスに、1月30日（木）までに視聴用URL
および配布資料ダウンロード用のパスワードをお送りします。

お申し込み・視聴にあたってのお願い

- ・組織内で複数の方が申し込む場合も、お一人ずつお申し込みください。
- ・お伝えした視聴用URLやパスワードは他者と共有しないでください。
- ・動画につきましては、ダウンロードしての保存や、映像を加工等しての利用などは固くお断りいたします。

配信期間

令和7年2月3日（月）～2月28日（金）
配信期間終了まで受付いたします。

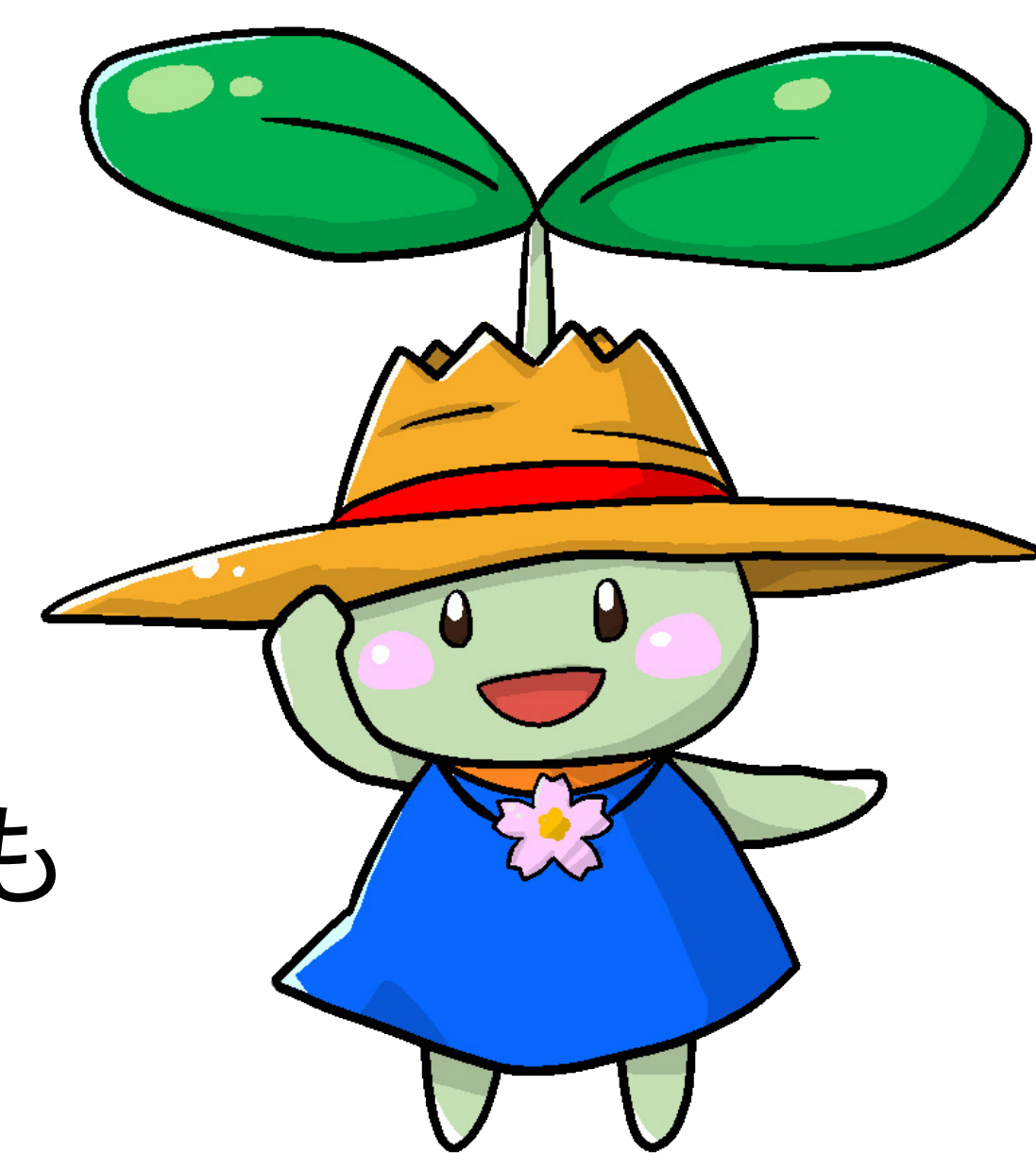
お申し込み

あきる野学園オンデマンド配信型実践報告会申し込みフォーム

<https://logoform.jp/f/hnmWL>



本校ホームページ特設サイトからも
お申し込みいただけます。



あきる野学園
マスコットキャラクター
「ふたばちゃん」

オンデマンド配信型

実践報告会

東京都立あきる野学園 東京都あきる野市上代継123-1

電話番号：042-558-0222

学校ホームページ <https://akiruno-sh.metro.ed.jp>

